

# ひとりごと

## 「“みんな”のおかげ」

「いつか東京に戻って来いよ」

7年前の大学の卒業式の日、友人たちからの言葉に

「ん～、どうかね。分かんないけど、ま、そんな時はよろしく」

と有耶無耶に返事をし「そんな時は来るのか…」と感じながら関東圏に就職する仲間に別れを告げ、地元に戻ってきた。

あれから6年、自分が地元のサラリーマンであることに違和感を覚えなくなり、すっかりあの時の約束も記憶の引き出しの奥の方に追いやられていた頃、職場のエライ人に小部屋に呼ばれ告げられた

「来年度、東京勤務をしてもらいたいのですが。」

こうして、一応過去の約束を果たすことができ、今は仕事終わりや休日に友人と遊びに行ったり、趣味に時間を使ったり、たまにはゆっくり過ごしたりしながら、申し分ない日々を送れている。

そんな中、最近考えることがある。

「みんながいなかったら、ここでの生活はどうだったんだろう…」

この問いの答えは自らの想像の域を出ることはないが、彼らの存在が、いま過ごしている日々鮮やかな彩を添えてくれていることは疑いの余地がなく、私の生活の質を確実に高めてくれていることは間違いない。

考えてみると私は今年度（少なくともこの文章を書いている時まで）、仕事でもプライベートでも、大きな苦しさや辛さを感じたことは無く、徐々に充実した生活ができています。プライベートでは言うまでもなく、仕事においても、周囲の方々からの多大な協力を受け、ここに来て初めて触れる制度や業務に取り組むことができ、日々自らが改めて周りに恵まれていること、その中で成長ができていながら業務に当たることができています。

こうして振り返ると先程の“みんな”という言葉には、冒頭の私の旧知の友人達はもちろんの事、それだけではなく、職場で仕事のサポートを下さる皆さん、私の成長のために快く送り出してくれた家族など、自分に関わる周りの全ての人が含まれていると強く感じる。

そのような周囲の方々に感謝の気持ちを決して忘れず、残り数か月、公私共に充実した日々を送れるように精進したい。

(Y.A)

## 「教育委員会月報 令和6年2月号 No.892」

- ・発行・著作 文部科学省初等中等教育局初等中等教育企画課
- ・〒100-8959 東京都千代田区霞が関 3-2-2
- ・TEL : 03-5253-4111 (代表)
- ・URL : <https://www.mext.go.jp>



文部科学省